

令和7年度 第1回 大分市総合教育会議

日時：令和7年5月28日（水）13：15～14：30

場所：第2庁舎6階 教育委員室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

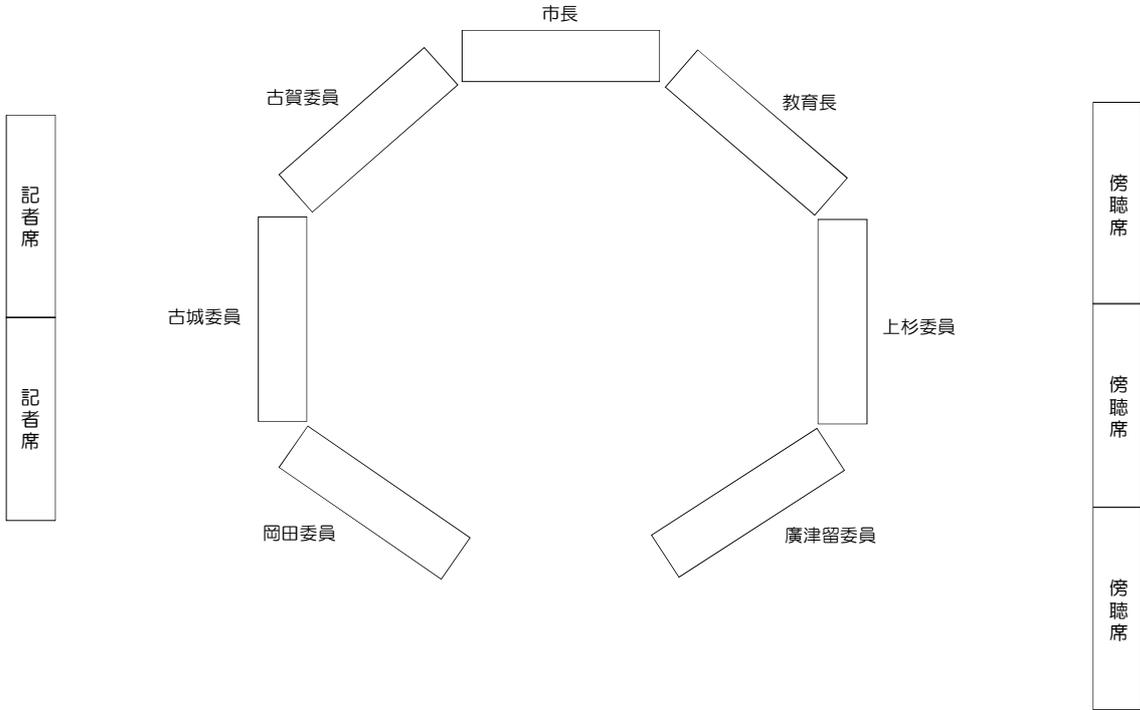
- (1) 令和7年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」関連事業について
- (2) 不登校と特別支援について

3. 閉 会

令和7年度第1回大分市総合教育会議

5月28日(水) 13:15~
第2庁舎6階 教育委員室

入口



学校教育 課長	教育総務 課長	教育監 教育部長	企画部長 企画部 次長
子ども すこやか部長	子ども 企画課長		
社会教育 課長	人権教育 推進課長	体育保健 課長	学校施設 課長
企画課長	文化振興 課長	子育て支援 課長	保育・幼児 教育課長
美術振興 課長	文化財 課長	教育センター 所長	児童生徒 支援課長
国際課長	スポーツ 振興課長	障害福祉 課長	子ども入園 課長
		生活福祉 課長	健康課長
		商工労政課 参事	

入口

受付

基本方針1 生きる力をはぐくむ学校教育の充実

教育大綱目標	教育ビジョン重点施策	令和7年度事業
1. 次代を担う人材育成	知・徳・体のバランスのとれた力の育成	教科指導マイスター派遣事業 大分っ子基礎学力アップ推進事業 学校図書館活性化事業 民間プール活用委託事業 歯と口の健康づくり事業 子どものための医療用ウィッグ等購入費助成事業 小学5年生ピロリ菌検査（胃がん対策）事業 新 科学体験イベント実施事業 おおいた夢色音楽プロジェクト どこでもコンサート
	社会の変化への対応	青少年国際理解推進事業 中学生オースチン市受入事業 ハーバード大学生との交流事業 外国語指導助手招聘事業
	特別支援教育の充実	特別支援等教育活動サポート事業 特別支援教育アドバイザー派遣事業
	幼児教育の充実	重 大分市にこにこ保育支援事業 新 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）
2. 「縦の接続」の視点による教育の展開	「縦の接続」による教育の展開	大分市小中一貫教育推進事業

基本方針2 子どもたちの学びを支える教育環境の充実

教育大綱目標	教育ビジョン重点施策	令和7年度事業
3. 学びのセーフティネットの構築	全ての子どもたちの学びの保障	重 中学生学校給食費無償化事業 医療的ケア児に対する移動支援事業 医療的ケア児在宅レスパイト事業 拡 奨学助成事業 重 いじめ・不登校等未然防止対策事業 重 不登校児童生徒支援事業 子育て短期支援事業 子育て世帯訪問支援事業 スクールソーシャルワーカー活用事業 日本語指導等支援事業 特別支援教育メディカルサポート事業 医療的ケア児教育・保育事業 こども家庭センター事業 新 メタバースを活用した不登校支援事業
4. 質の高い学びを実現する教育環境の整備	時代の変化に対応した教育環境の整備	重 小中学校等屋内運動場空調設備整備事業 重 明治小学校施設整備事業 重 小中学校施設長寿命化改修事業 重 賀来小中学校施設整備事業 教育用端末等整備事業 新 電子書籍システム導入・利用促進事業
	教職員の資質能力の向上及び働き方改革の推進	学校施設使用許可事務委託事業 運動部活動総合活性化事業 教職員指導力向上推進事業 スクールサポートスタッフ配置事業 部活動指導員活用事業 新 休日部活動地域移行体制整備事業
	地域とともにある学校づくりの推進	学校運営協議会

基本方針3 社会教育の推進と生涯学習の振興

教育大綱目標	教育ビジョン重点施策	令和7年度事業
5. 生涯学習支援体制の充実	生涯学習支援体制の充実	重 地区公民館施設整備事業（植田） のつはる西部の楽校管理運営事業 海星館管理運営事業 市民図書館管理運営事業 おおいたナイトスクール事業 子どもの学習支援事業 おおいたふれあい学びの広場推進事業
6. こどもの健全育成と地域の教育力向上	学校、家庭、地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上	えひめ・おおいた交流事業 重 児童育成クラブ事業 青少年育成事業（中央補導活動事業）

基本方針4 個性豊かな文化・芸術の創造と発信

教育大綱目標	教育ビジョン重点施策	令和7年度事業
7. 文化・芸術を生かしたまちづくり	美術の振興と発信	重 アートを活かしたまちづくり事業 アーティストバンク推進事業 アートレジオン推進事業
	文化財の保存・活用	重 大友氏遺跡保存整備事業 DXによる地域文化資源の継承及び活用推進事業 FUNAI文化遺産整備基金積立金 小牧山古墳群基盤整備事業

基本方針5 スポーツの振興

教育大綱目標	教育ビジョン重点施策	令和7年度事業
8. スポーツを通じた地域活性化	スポーツ振興に関する事務は、平成29年度に市長部局に移管	拡 アーバンスポーツフェス/スケートボード大会開催事業 重 大南地区スポーツ施設整備事業 新 アーバンスポーツ施設整備事業

基本方針6 人権を尊重する社会づくりの推進

教育大綱目標	教育ビジョン重点施策	令和7年度事業
9. 人権尊重を基盤とした教育の推進と充実	学校教育における人権教育の推進と充実	教育指導一般事業（啓発資料の作成等）
	社会教育における人権教育の推進と充実	教育指導一般事業（人権教育推進協議会等）
10. 人権尊重社会の実現に向けた人権啓発の推進	人権啓発の推進	人権フェスティバル等事業

令和7年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和7年度)	担当課
目標1 次代を担う人材育成	知・徳・体のバランスのとれた力の育成	1	教科指導マイスター派遣事業	経験豊富で実績のある退職教職員を「教科指導マイスター」として中学校に派遣し、国語科、社会科、数学科、理科、英語科の具体的な授業場面において担当教員へ指導・助言を行う。	国語科5名、社会科2名、数学科4名、理科2名、英語科3名の教科指導マイスターを配置する。 教科指導マイスターは、1教科当たり年間平均18回程度訪問し、各学校における学力や学習の状況、授業観察の結果等を踏まえ、教科指導の在り方等について指導・助言を行う。	学校教育課
		2	大分っ子基礎学力アップ推進事業	児童生徒の基礎学力の向上に向け、小学校4校と中学校2校を「基礎学力向上研究推進校」に指定し、教科指導における実践的な研究を進めるとともに、市内全小中学校等を対象に、標準化された学力調査を実施する。	指定校2年目に当たる植田小学校、丹生小学校、植田西中学校が、公開研究発表会等を通して、2年間の研究の成果を他校に還元する。なお、指定校2年目の植田小学校、指定校1年目の春日町小学校については、各校が大分大学と連携し、研究を進める。また、市内全小中学校等を対象に標準学力調査を実施する。 【標準学力調査実施教科】 小4:国語、算数、理科 中1:国語、社会、数学、理科、英語	学校教育課
		4	学校図書館活性化事業	各小中学校において学校図書館の司書業務を支援する「大分市学校図書館支援員」を配置することにより、児童生徒の豊かな感性や情操を育む読書活動を推進し、読書に親しむおいたっ子を育てる教育活動の充実を図る。	小中学校等に学校図書館支援員を61名(兼任20名、専任41名)配置する。また、図書館教育推進校として小学校4校、中学校3校を指定し、豊かな感性や情操をはぐむ読書活動の推進に向けた取組を市内全学校に還流する。	学校教育課
		5	民間プール活用委託事業	近隣に民間プールがあり、学校プールの建築経過年数の古い学校における水泳の授業を、当該民間プールを所有するスポーツクラブやスイミングスクール等に委託する。 児童に対して指導員による専門的な指導を実施するとともに、プールの水質管理等に係る教職員の負担軽減を図る。	大分市立金池小学校、大分市立東植田小学校、大分市立舞鶴小学校、大分市立大在東小学校において、近隣の民間プール等を活用した水泳授業を実施する。	体育保健課
		6	歯と口の健康づくり事業	歯みがき指導、食に関する指導に加え、むし歯予防効果が高いフッ化物洗口を導入することにより、学校における歯と口の健康づくりを推進する。	フッ化物洗口及び歯科衛生士を派遣する歯みがき指導(小学校3年生、5年生、中学校1年生対象)を、全ての市立学校において実施する。	体育保健課
		7 (市)	子どものための医療用ウィッグ等購入費助成事業	がんや他の疾患等の影響による脱毛症状を抱える小学1年生から18歳までの小中高生等に対して、医療用ウィッグの購入等に係る費用の助成を行う。	脱毛症状に悩む子どもを抱える家庭の経済的負担の軽減、子ども自身の身体的、精神的負担や社会生活への不安を和らげるため、医療用ウィッグの購入費等を補助する。 【対象物】令和7年4月1日以降に購入、リースした以下のもの ・医療用ウィッグ(全頭用) ・頭皮保護用ネット ・毛付き帽子またはケア帽子等 ・第2号様式「大分市子どものための医療用ウィッグ購入費等助成事業医療機関受診証明書」の発行にかかる文書料 【助成金額】購入・リース、文書発行にかかる費用の2分の1(上限5万円) 【助成回数】年度内で1回	健康課
		8	小学5年生ピロリ菌検査(胃がん対策)事業	胃がんや炎等の原因の一つであるピロリ菌の検査を小学5年生を対象に実施し、検査及び除菌治療までの継続的なフォローアップを行うこと将来胃がん等のリスク軽減につなげる。また、がん教育を併せて実施することにより、がんの正しい知識について理解を深め、がん予防の意識を高める。	市立学校の小学校5年生の希望者を対象にピロリ菌検査を実施する。1次検査は、すこやか検診(血液検査)の項目の一つにピロリ菌抗体検査を加えて実施。2次検査は1次検査の陽性者を対象に便中ピロリ菌抗原検査を行い、除菌までのフォローアップを行う。	体育保健課

令和7年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和7年度)	担当課
目標1 次代を担う人材育成	知・徳・体のバランスの とれた力の育成	9	科学体験イベント実施事業	本市における科学館設置の可能性研究の一環として、小中学校の夏休み期間に科学を体験できるイベントを実施し、市民が科学に興味を持つきっかけとするとともに、科学館設置に関する気運醸成を図る。	実施日: 令和7年8月23日(土)～24日(日) 実施場所: 荷揚複合公共施設(コモンスペース、大会議室等) 大分中央公民館 実施内容: ブース出展(※)、企画展、スタンプラリー等 ※市内高校、大学等、企業、その他科学関係団体と出展につき調整中	社会教育課
		10 (市)	おおいた夢色音楽プロジェクト どこでもコンサート	市民に身近な場所で気軽に音楽に親しんでいただくとともに、音楽家に演奏できる機会を提供することを目的に、「どこでもコンサート」を市内各地で開催している。 今年度からは新たに、中学生と一緒にコンサートを企画・運営する「中学生マネジメント企画」を実施するとともに、中学校の吹奏楽部に演奏のステージを提供する「中学校吹奏楽部ステージ企画」を実施する。	①中学生マネジメント企画 募集: 令和7年5月1日～6月13日 定員: 5名程度 実施月: ワークショップを8月、9月に各1回 コンサートは11月を予定 ②中学生吹奏楽部ステージ企画 出演者: 市内中学校吹奏楽部2校/回 実施月: 9月、2月を予定	文化振興課
		11 (市)	青少年国際理解推進事業	市内小学生が留学生とともに、簡単な英会話を楽しみながら、「なぞ解き」等を行う体験型のイベントを開催する。与えられたミッションを共有しながら活動および交流をする体験を通じて、子どもたちが外国人に親しみをもち、世界や多文化共生に目を向ける機会を創出する。	1. 日時: 令和7年9月13日(土) ①10:45～12:00 ②13:30～14:45 ③15:30～16:45 2. 場所: 別館6階 多目的会議室 3. 定員: 各回32名(計96名) 4. 内容: 留学生と一緒になぞ解きや世界のクイズ、異文化体験を行う体験型のイベント	国際課
	社会の変化への対応	12 (市)	中学生オースティン市派遣事業	市内中学生を姉妹都市オースティン市に派遣し、海外での異文化体験、現地での交流を通じて国際的視野を広げ、将来の国際化社会を担うグローバル人材の育成を目指すとともに、本事業を通じて姉妹都市間の親善を深めていく。	派遣期間: 令和8年1月17日(土)～1月27日(火) 派遣人数: 市内中学生6名、引率2名 活動内容: ホームステイ体験をしながら、平日午前は語学学校にて英語学習に励み、午後は現地交流、市内見学等、課外活動に臨む。休日はホストファミリーと過ごす。オースティン大分姉妹都市委員会が活動をサポート。 参加者負担: 10万円。ただし、要保護世帯および就学援助適用世帯は免除あり。	国際課
		13 (市)	ハーバード大学生との交流事業	一般社団法人Summer in JAPAN(サマーインジャパン 略称SIJ)が主催する英語のサマースクール「サマーインジャパン」では、ハーバード大学生が、世界各国から応募する生徒へ講義などを行っている。大分市とSIJが連携し、ハーバード大学生と市内小・中学生が英語を使って交流する「SWIM」を開催する。 ※SWIMとは、“Summer Workshop for Immersive Multiculturalism”(多文化にどっぷりつかる夏のワークショップ)の頭文字をとったもの。	1. 実施日: 交流会: 令和7年8月10日(日) 事前セミナー: 令和7年7月12日(土) 2. 定員: 100名 (小学3年生～中学3年生、初級、中級の2コース) 3. 会場: 別館6階 多目的会議室 4. 実施内容: 一般社団法人Summer in JAPANと連携し、大分市内の小・中学校(義務教育学校後期課程を含む)に通う生徒を対象にハーバード大学生を交え、簡単な英語ワークショップを行う交流会を開催する。	国際課
		14	外国語指導助手招聘事業	小学校における外国語活動・外国語科、中学校における英語科の授業等において、ALTを活用し、児童生徒が外国語やその背景にある文化等に触れる機会を充実することにより、興味・関心を高め、英語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成を図る。	児童生徒が生きた英語に直接触れる機会をより多く確保し、授業を実際のコミュニケーションの場面とするなど、指導体制の充実を図るため、ALT32名体制で学校派遣を実施する。 なお、令和3年度からはJETプログラムによる招聘に加え、民間事業者を活用し、人材を確保している。	学校教育課
		15	特別支援等教育活動サポート事業	学習や生活指導上、特に配慮が必要な児童生徒が在籍する学校に補助教員を配置し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行う。	学習や生活指導上、特に配慮が必要な児童生徒に対し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行うため、小中学校等に補助教員(137名)を配置する。 申請のあった学校へ配置できた割合 91.0%(R5)→94.9%(R6)→90.1%(R7)	学校教育課

令和7年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和7年度)	担当課
目標1 次代を担う人材育成	特別支援教育の充実	16	特別支援教育アドバイザー派遣事業	小中学校及び義務教育学校に「特別支援教育アドバイザー」を派遣し、特別支援学級担任及び通常の学級担任等に対し、特別支援教育に関する指導・助言を行い、教育上特別の支援を必要とする児童生徒への指導・支援の充実及び特別支援学級担任や特別支援教育コーディネーター等の専門性の向上に努め、校内支援体制の充実を図る。	市内を3地区に分け、それぞれに特別支援教育アドバイザー(以下アドバイザー)3名を拠点校及び対象校に派遣する。アドバイザー1人当たり7校程度を担当する。	教育センター
		17 (市)	大分市にこにこ保育支援事業	認可外保育施設を利用する保育の必要性がある第2子以降3歳未満児の保育料等を助成する。(上限3万5千円)	市報やホームページ等により事業の周知に努めるとともに、事業開始初年度の課題整理を行う。	子ども入園課
	18 (市)	乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)	全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対しての支援を行う。対象となるこどもは、保育所等に通っていない生後6ヶ月から満3歳未満のこどもで、月10時間を上限に、保護者の就労要件を問わずに保育所等を利用できる。また、保護者に対しては、保育士等から子育てについての助言等を行う。	令和7年度については、市内5事業所にて本事業を実施することとしており、5月から利用者の募集を行い、6月から事業に着手する予定としている。	保育・幼児教育課	
目標2 「縦の接続」の視点による教育の展開	「縦の接続」による教育の展開	19	大分市小中一貫教育推進事業	「確かな学力の定着・向上」、「豊かな人間性と社会性の育成」、「健やかな心身の育成」をバランスよく推進し、自ら学び自ら考える力などの生きる力を育成する上から、義務教育9年間を見通した系統的な教育を行うとともに、小中学校間の円滑な接続を図る小中一貫教育を推進する。	小中一貫教育実践発表校である4校区(滝尾中、城南中、上野ヶ丘中、明野中)が、学校や地域の実情に応じたこれまでの研究内容や成果について、公開研究発表会や小中一貫教育推進フォーラム等を通して、市内全小中学校に還元する。また、各学校が学校や地域の特色を生かした系統的な教育課程を実施し、評価して改善を図り、9年間を見通した系統性・連続性のある教育の充実につなげる。	学校教育課
目標3 学びのセーフティネットの構築	全ての子ども学びの保障	20	中学生学校給食費無償化事業	大分市立中学校に在籍する中学生の学校給食費を令和5年度3学期の給食提供分から無償化する。	市立中学校に在籍する生徒の学校給食費無償化を実施する。	体育保健課
		21 (市)	医療的ケア児に対する移動支援事業	喀痰吸引、酸素療法、人工呼吸器による医療的ケアが必要となるため、通学等が困難な状態にある医療的ケア児に対して、一定の研修を修了した介護職員等が、医療的ケアや見守りを行うことで、保護者の身体的・精神的負担軽減を図る。	令和6年度登録者数 3名	障害福祉課
		22 (市)	医療的ケア児在宅レスパイト事業	在宅で医療的ケア児の看護や介護を行う家族の負担軽減を図るため、レスパイト(休息)を目的に利用する訪問看護サービスにかかる費用を負担する。	令和6年度登録者数 19名 事業開始2年目であることから家族会等を通じた当事者への周知に加え、事業者(訪問看護ステーション)同士の情報交換等を実施することで本事業の実効性を高める。	障害福祉課
		23	奨学助成事業	大学等に進学した学生が卒業後、本市に居住又は市内の事業所等に就業することを条件に、貸与した奨学資金の返還を免除する奨学資金制度で、進学を志す学生の経済的な支援と、将来、本市で活躍する人材の育成・確保を図る。	令和8年度に大学等への進学予定者を対象に、返還免除型奨学資金の奨学生を募集する。募集人員は、市内の高校等に在籍する生徒28名(各学校から1名)及び市外の高校等に在籍する生徒1名の合計29名以内とする。決定した奨学生に対しては、入学先が決定した後に入学一時金を貸与する。	児童生徒支援課

令和7年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和7年度)	担当課
目標3 学びのセーフティネット の構築	全ての子どもの学びの 保障	24	いじめ・不登校等未然防止対策事業	学級集団検査(hyper-QU)を行い、児童生徒や学級の現状及び課題を的確に把握し、いじめ・不登校等の未然防止につながる学級集団作り等に活用する。	学級集団検査(hyper-QU)を、全小学校(第4学年～第6学年)、全中学校(第1学年～第3学年)、義務教育学校(第4学年～第9学年)において年2回実施するとともに、検査結果を個別指導や学級経営等に活用する。	児童生徒支援課
		25	不登校児童生徒支援事業	学校に登校はできるが教室にはいけない児童生徒が教室復帰したり、登校に無気力さや不安を抱える児童生徒が安心して登校したりできるよう支援や援助をする目的で、中学校及び義務教育学校にスクールライフサポーターを配置する。	生徒指導や教育相談に関する専門的な知識と技能を備えた者をスクールライフサポーターとして中学校14校と義務教育学校に計15名(令和6年度比2名増)を配置し、学校に登校はできるが教室にはいけない児童生徒や、登校に無気力さや不安を抱える児童生徒を、支援教室において、社会的自立や教室復帰に向かう支援を行い、必要に応じて入室した児童生徒の学習支援等を行う。	児童生徒支援課
		26 (市)	子育て短期支援事業	保護者の病気・事故・冠婚葬祭・出張などの際に、子どもを一時的に児童養護施設等で預かる。(R6年4月より親子での利用も可能となった)	利用希望者が年々増加しており、施設や里親を利用しながら預かりの調整をしている。令和7年度についても児童養護施設に対して、専従職員配置への支援や新規の里親との契約により利用ニーズへの対応を図っていく。	子育て支援課
		27 (市)	子育て世帯訪問支援事業	家事・育児に対して不安や負担を抱える子育て世帯、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭に対し、家事育児ヘルパーを派遣し、家事や育児を支援することで、保護者の妊娠及び育児に対する不安や負担を軽減し、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐとともに、家庭における養育環境を整え、日常生活を営むことに支障が生じている児童・生徒を支援する。	令和7年度は、16事業所と委託契約を結び、支援が必要な家庭に対しヘルパー派遣を行うことで、家庭における養育環境を整え、日常生活を営むことに支障が生じている児童・生徒を支援していく。	子育て支援課
		28	スクールソーシャルワーカー活用事業	不登校をはじめ、いじめ・暴力行為・児童虐待など生徒指導上の課題への対応が求められる中、行政や関係機関と連携した相談活動など包括的な支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを効果的に配置し、児童生徒のおかれた様々な環境に働き掛けるとともに、学校における教育相談体制の整備、充実を図る。	会計年度任用職員のスクールソーシャルワーカー(以下、「SSW」という。)24名を、市立小中学校及び義務教育学校に配置する。また、正規職員2名及び任期付正規職員1名の主任SSWを中央、東部、西部の3エリアに配置する。	教育センター
		29	日本語指導等支援事業	各学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒等の学校生活への円滑な適応を図るため、日本語指導を行う講師や日本語指導専任指導員、通訳を各学校に派遣する。	日本語の指導が必要な児童生徒や日本語が十分に理解できない保護者に対し、日本語指導を行う講師や通訳者を各学校へ派遣し、支援する。 また、日本語指導専任指導員を拠点校3校(下郡小、敷戸小、碩田学園)に各1名配置し、来日直後等の児童生徒が在籍する学校へ出向き、集中的な指導や支援を行う。	学校教育課
		30	特別支援教育メディカルサポート事業	日常的に導尿などの医療的ケアを必要とする児童生徒に対して、訪問看護ステーションから看護師を派遣し、医療的ケアを実施することで児童生徒の安全な学校生活及び保護者の負担軽減等、合理的配慮を図り、児童生徒の教育機会を保障する。	小学校8校10名、中学校3校3名(導尿、インスリン投与の介助等)最大週5日、1回30分以内の医療的ケアで、対象となる児童生徒の状況に応じて1日1回又は2回派遣する。7事業所と委託契約を結び、訪問看護ステーションから看護師を派遣して対応する。	教育センター
		31 (市)	医療的ケア児教育・保育事業	保育所、認定こども園及び市立幼稚園に在籍する日常的に医療的ケアを行う必要があるこどもに対して看護師を派遣し、医療的ケアを行うことにより、就学前のこどもの安全な集団保育及び教育活動の確保並びに保護者負担の軽減を図る。なお、事業の対象者は、市内に住所を有する満3歳以上のこどもで、他のこどもとの集団による教育・保育が可能であること。	令和7年度は、市立保育所1名、私立保育所1名、市立認定こども園2名が利用中。 医療的ケアの内容は、導尿、インスリン投与、全身軟膏塗布であり、3か所の訪問看護ステーションと委託契約を結び、看護師を派遣して対応している。 導尿は1日1～3回、インスリン投与は1日2回、全身軟膏塗布は1日1回、すべて30分以内/回の利用である。 新規の相談については、関係機関と連携し、その都度対応中。	保育・幼児教育課

令和7年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和7年度)	担当課
目標3 学びのセーフティネット の構築	全ての子どもの学びの 保障	32 (市)	こども家庭センター事業	児童福祉法等の改正に基づき、母子保健に関する相談支援を担う「子育て世代包括支援センター」及び児童福祉に関する相談支援を担う「子ども家庭総合支援拠点」を一体化し、全ての妊産婦や子育て家庭等へ包括的に相談支援を行う	サポートプランによる効果的・計画的な支援の実施など、母子保健と児童福祉の連携により妊娠・出産から子育てまで切れ目ない相談支援体制の充実を図っていく。	子育て支援課 健康課
		33	メタバースを活用した不登校支援事業	不登校児童生徒に対して、メタバース空間における個別相談や学習支援等を行うことで、人とのつながりや心の居場所づくりのきっかけとし、校内教育支援ルームや教育支援教室「フレンドリールーム」等の相談機関につなげる。	家にこもりがちで、学校や相談機関等に通うことが難しく、不登校状態の児童生徒に対して、メタバース空間における個別相談や学習支援等を行うことで、人とのつながりや心の居場所づくりのきっかけとし、学校や教育支援教室「フレンドリールーム」等の相談機関につながるよう、児童生徒の自主性や社会性の伸長を図る。	児童生徒支援課
目標4 質の高い学びを実現する 教育環境の整備	時代の変化に対応した 教育環境の整備	34	小中学校等屋内運動場空調設備整備事業	児童生徒及び教職員に望ましい学習・生活環境及び就労環境を提供することを目的に、体育館に空調設備を整備する。	空調設備整備、運用開始	学校施設課
		35	明治小学校施設整備事業	児童数が増加傾向の明治小学校について、校舎と幼稚園の改築やグラウンド整備等、一体的な施設整備を行い、教育環境の改善及び敷地の有効活用を図る。	新校舎設計(2年目)、敷地測量、地質・周辺建物調査、幼稚園舎解体設計	学校施設課
		36	小中学校施設長寿命化改修事業	「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、建物を築80年まで使用するため、小中学校施設の長寿命化改修を行う。	・荏隈小学校(体育館) 改修工事 ・別保小学校(体育館) 改修工事 ・城南中学校(校舎・プール等) 改修工事	学校施設課
		37	賀来小中学校施設整備事業	大分市初の小中一貫教育校として平成19年に開校した賀来小中学校について、中学校北校舎の長寿命化改修に併せて、老朽化が進んでいる小学校南北校舎及び中学校南校舎を解体の上、中学校敷地に該当3校舎を一体整備することで、教育環境の向上を図る。	・賀来中学校南校舎改築及び北校舎長寿命化改修 設計 ・仮設校舎建設 ・賀来中学校南校舎解体 設計	学校施設課
		38	教育用端末等整備事業	一人1台端末等のICTの活用を推進するとともに、教員のICT活用指導力の向上を図ることで、「分かりやすく深まる授業」の実現並びにプログラミング教育や情報モラル教育の充実を図り、児童生徒の学習の基盤となる情報活用能力を育成する。	大分市立学校等において使用するGIGAスクール端末のうち、小学校1・2年生分を除いた32,544台(予備機含む)について、令和8年度から令和12年度までの5年間の賃貸借物件として調達する。また、GIGAスクール端末運用保守業務委託(iPadヘルプデスク)について、一般競争入札を実施し、令和8年度から令和12年度までの5年間の業務委託を行うことにより、教育情報化に係る施策を推進する。	教育センター

令和7年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和7年度)	担当課
目標4 質の高い学びを実現する 教育環境の整備	時代の変化に対応した 教育環境の整備	39	電子書籍システム導入・利用促進事業	市民図書館における非来館型サービスとして読書活動の推進につなげるとともに、生涯学習の推進の起点として、市民図書館と学校が連携し、一人1台端末等で電子書籍を活用することにより、紙媒体と電子媒体の双方で読書活動ができる環境を整え、子どもたちの資質・能力を育む上で不可欠な読解力や想像力、思考力、表現力等を養う。	○事業内容 ①電子書籍システムの導入 ②図書館利用登録の電子申請システムの導入 ③事業の周知広報、学校における一人1台端末での利用促進 ○スケジュール ①令和7年4月～6月公募型プロポーザル方式による業者選定・契約 ②7月～9月システム構築、コンテンツ選書・発注 ③10月「大分市電子図書館」、図書館利用登録電子申請サービス運用開始 ④電子書籍の利用促進	社会教育課
		40	学校施設使用許可事務委託事業	「大分市立学校における働き方改革推進計画-第二次-」に基づき、学校における教職員の働き方改革を推進するため、学校施設使用許可事務の一部を総合型地域スポーツクラブ等の団体に委託することで教職員の事務負担軽減を図る。	委託校数:13校【令和7年4月時点】	学校施設課
	41	運動部活動総合活性化事業	地域の高度な指導力を持つ人材を運動部活動に活用することにより、生徒の多様なスポーツニーズに応え、運動部活動の実施体制の整備を図るとともに指導者の資質向上並びに適切な運動部活動の運営に寄与する。また、トップアスリートによる実技講習会を開催し、生徒に運動する楽しさ・喜びを味わわせ生涯スポーツの基礎を培い、競技力の向上につなげる。	運動部活動外部指導者人材バンクを活用し、運動部活動の実施体制の整備を図る。また、登録者に対して研修会を実施し、外部指導者の資質向上を図る。また、同一校において3年以上指導を行っている外部指導者については、土日祝日の部活動における単独指導及び引率を認める。 【令和6年度 外部指導者登録者数:289名】	体育保健課	
	42	教職員指導力向上推進事業	教職員としての使命感や職務遂行のために必要な専門的知識や技能、広く豊かな教養、これらを基盤とする実践的指導力の向上を図るため、キャリアステージに応じた体系的かつ効果的な教職員研修を企画、運営する。	各教科等で育成する資質・能力や主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善等を踏まえた教科等指導力の向上、ICTの効果的な活用、特別支援教育等の新たな教育課題及び学力向上、不登校対応等といった本市の教育課題に対応した研修講座を充実させ、教職員としての専門性を高めるとともに、実践的指導力の向上を図る。	教育センター	
	43	スクールサポートスタッフ配置事業	教職員の事務負担を軽減し、子どもと向き合うための時間を確保するため、スクールサポートスタッフを配置する。	教職員の事務負担の軽減のため、授業で使用する学習プリント等の印刷及び配布準備、授業準備及び片付けの補助、各種会議の資料等の印刷及び準備、アンケートの集計等の補助等を行うスクールサポートスタッフを、市内小中・義務教育学校(分校を除く)に82名を配置する。	学校教育課	
	44	部活動指導員活用事業	中学校に「部活動指導員」を配置し、同指導員による単独指導と大会等への単独引率を可能とすることにより、部活動の指導体制の充実と教員の部活動における負担軽減を図る。	市内中学校に部活動指導員を配置し、生徒の能力に応じた適切な指導を行うとともに、教員の部活動に係る負担軽減を図る。 【令和6年度 市内中学校18校に30名を配置】	体育保健課	
	45	休日部活動地域移行体制整備事業	学校で行われている休日の部活動において、部活動に所属する生徒が専門的な指導を受けることができる環境と、教員が指導に携わる必要のない体制を構築することにより、教員の働き方改革を推進するとともに、生徒が今後も継続してスポーツ・文化芸術活動に取り組むことができる環境整備を行う。	総合型地域スポーツクラブが休日の活動を運営する地域団体等運営型と競技団体が休日の練習会を開催する競技団体運営型の事業を実施する。	体育保健課	

令和7年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

資料1

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和7年度)	担当課
目標4 質の高い学びを実現する 教育環境の整備	地域とともにある学校 づくりの推進	46	学校運営協議会	各学校の運営及び運営への必要な支援に関して協議する機関として、学校運営協議会を各学校の実情に応じて設置する。	令和6年度までに市内全ての小中・義務教育学校(分校を除く)において学校運営協議会の設置が完了した。今後とも各学校において充実した学校運営協議会の運営が行われるよう、研修等の実施や学校への支援を行う。	学校教育課
目標5 生涯学習支援体制や 家庭教育支援の充実	生涯学習支援体制の 充実	47	地区公民館施設整備事業(植田)	「大分市公共施設等総合管理計画」及び「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、地区公民館の長寿命化改修を実施し、施設の利便性の向上及び機能充実を図る。	植田公民館長寿命化改修工事	社会教育課
		48	のつはる西部の楽校管理運営事業	のつはる西部の楽校(旧野津原西部小学校)において、自然に囲まれた美しい景観を活かし、合宿や研修、レクリエーション等による利用を通じて、人々の交流や社会教育の推進を図る。	・施設の適切な管理運営と利用者の増加に向けた広報強化	社会教育課
		49	海星館管理運営事業	天文分野に関する学習の場や佐賀関の自然や豊予海峡を臨む景色が堪能できる憩いの場である関崎海星館について管理運営を行い、市民の知識及び教養の向上を図る。	開館30周年を記念したイベントや、天体望遠鏡、プラネタリウムについて広くPRを行い、より多くの市民に海洋及び天文に関する学習の場を提供する。	社会教育課
		50	市民図書館管理運営事業	市民の読書活動や生涯学習を促進するため、ニーズを捉えた多種多様な事業(イベント)の開催や、これまで図書館を利用する機会の少なかった方へのサービスの提供等を強化して図書館利用者の拡大を図るとともに学校、地区公民館、関連部署との連携による生涯学習支援体制の整備を図る。	○利用者の拡大 ・年間を通して行う定例の事業に加え、ニーズを捉えた多種多様なイベントを開催するとともに学習席の利用拡大、大分都市広域圏図書館相互利用の促進、高齢者・障がい者施設等への団体貸出の促進を行う。 ○広報活動の強化 ・多様な館内広報、広報誌(一般・YA・子ども)を年間を通して発行、ホームページやSNS等電子媒体を活用した広報、フリーペーパーの活用、関係団体訪問による広報等の強化を行う。 ○地区公民館及び他課、他施設事業、学校との連携 ・連携事業のテーマ展示やブックリストを作成し、図書館の利用方法や団体貸出等の事業の周知・促進を行う。	社会教育課
		51	おおいたナイトスクール事業	さまざまな理由により、中学校で十分に学べなかった人や、生涯学習として中学校程度の学習内容を学び直したい人、大分の生活、文化や日本語を学びたい人に対して学習の機会を提供する。	植田市民行政センター、大分中央公民館、鶴崎公民館の3会場で実施する。 ○植田市民行政センター(火) 英語(中学1年程度)・国語(中学1年程度) ○大分中央公民館(水) 英語(中学2年程度)・国語(中学2年程度)・国際科 ○鶴崎公民館(木) ふるさと知ろう科・数学(中学1年程度)	社会教育課
		52 (市)	子どもの学習支援事業	「生活保護受給世帯」及び「就学援助受給世帯」の中学生を対象に、学習塾にかかる費用の月額1万円(3年生に限り、7・8・12・1月は月1万5千円)を上限として一部助成し、子育て世帯の負担軽減を図り、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、子どもたちに学力を向上するための機会を提供する。	令和6年度助成決定者の利用期間は8月末まで。6月下旬に令和7年度の就学援助決定者に対し、説明及び申請書を配布し、申請を受け付ける(新規申請者は8月より、更新者は9月より利用開始)。また、11月頃に未申請者に対し申請書を再配布し、2月頃に小学6年生の対象者に申請書を配布する。丁寧な周知を行い、更なる利用促進につなげる。	生活福祉課

令和7年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和7年度)	担当課
目標5 生涯学習支援体制や 家庭教育支援の充実	生涯学習支援体制の 充実	53	おおいたふれあい学びの広場推進事業	学校を中心とした身近な場所で、地域の指導者や団体等との交流を通じ、こどもの体験活動を行う。	市内全小学校区でこどもの体験活動を中心とした事業を実施予定。 地域人材で構成される実行委員会を主体とする「地域主体型」事業では、主催団体に対し、活動回数に応じた補助金を交付し、活動を支援する。	社会教育課
目標6 こどもの健全育成と 地域の教育力向上	学校、家庭、地域の連携・協働の推進による 地域の教育力の向上	54 (市)	えひめ・おおいた交流事業	豊予海峡を挟んだ愛媛県南予地方、大分県中部地域(以下、圏域という)の18自治体で結成した「えひめ・おおいた交流事業実行委員会」の事業の一つとして、圏域の将来を担う小学生を対象に小学生相互交流事業を実施し、農家や古民家等での宿泊、農山漁村地域の伝統的な生活体験、地域の特徴的なスポーツやアクティビティの体験を通じて、地域の人々や同世代との交流を楽しみ、それぞれの土地の魅力を味わってもらうことで、将来にわたり活気のある魅力的な圏域の推進を図るもの。	開催日 : 令和7年7月26日(土)～27日(日) 1泊2日 場 所 : 大分県西予市、宇和島市 参加者数 : 小学5～6年生 計40名 (愛媛県側20名、大分県側20名を想定) 内 容 : ・シーカヤック体験 ・農村民泊体験(西予市明浜町) ・宇和島城見学 ・みかん鯛養殖体験	企画課
		55 (市)	児童育成クラブ事業	就労などにより保護者が昼間家庭にいない小学校の児童を対象として、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、仕事と子育ての両立支援と児童の健全育成を図る。	児童育成クラブについては、令和7年度、明野西校区児童育成クラブにおいてクラブ室を建て替え、松岡校区児童育成クラブの増築工事を実施する予定としており、今後も利用者数の推移に注視しながら、施設整備を行っていく。 一方で、放課後児童支援コーディネーターの巡回相談や指導員対象の研修会を計画的に開催するなど、クラブへの支援を進めることで、質・量の両面からの充実を図っていく。	子育て支援課
		56	青少年育成事業(中央補導活動事業)	大分市青少年補導員が気になる行動への声かけや商業施設からの情報収集を積極的に行い、こどもの被害・非行防止に努める。	市内中心部のゲームセンターやカラオケ、商業施設等を巡回し、大分市青少年補導員が気になる青少年へ声かけをするとともに、商業施設からの情報収集を積極的に行い、こどもの被害・非行防止に努める。 ・市民補導員による中央補導を月10回実施 ・学校補導員による夜間補導を月4回実施	社会教育課
目標7 文化・芸術を生かした まちづくり	美術の振興と発信	57 (市)	アートを活かしたまちづくり事業	文化・芸術の持つ創造性を地域活性化と産業振興に活かすとともに、アートの力を利用して地域の魅力づくりや市民の地域を誇る気持ちの醸成、創造的な人材の育成や地域経済の活性化を図る。	第4回アートフェスティバルを開催する。 また、アートフェスティバル開催に合わせて、新たなパブリックアートの制作やアートを活かしたまちづくりの普及啓発のためのイベント等を行う。	商工労政課
		58 (市)	アーティストバンク推進事業	文化・芸術活動を行う団体や個人(アーティスト)と、その発表の場(スポット)の情報をデータベース化し、双方のマッチングを促進し、市民が多彩な文化・芸術に触れる機会の充実を図る。	①アーティストバンク専用ウェブサイト「POART/ポート」の運営 ②POART登録者を活用したイベントの実施 ③アートマネジメント人材を活用したマッチングサポート ④POART登録者向け補助制度の創設	文化振興課
		59 (市)	アートレジオン推進事業	人口減少や少子高齢化が進む周辺地域に市内外からアーティストを呼び込み、アートイベントや制作活動等を通して文化・芸術の振興を図るとともに、地域住民との交流を促進することで、地域活性化につなげる。	①旧小学校を活用したアトリエ利用 令和7年4月30日現在 旧大志生木小学校5名/旧野津原中部小学校5名 ②周辺地域におけるアートイベント 大南・佐賀関・野津原地域で各1回開催 ③地域でアート・マッチングプロジェクト 大南・佐賀関・野津原地域の地域団体等へアーティストを派遣	文化振興課

令和7年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

資料1

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和7年度)	担当課
目標7 文化・芸術を生かした まちづくり	文化財の保護・保存・ 活用	60	大友氏遺跡保存整備事業	約400年間豊後を支配した、戦国大名大友氏の本拠地である大友氏遺跡を将来にわたり保護、保存するため、大友氏遺跡歴史公園の計画的な史跡指定と公有化を推進し、同時に整備を行っていく。	令和5年度に「史跡大友氏遺跡整備基本計画(第1期)令和5年度改訂版」が策定されたことから、歴史公園全体計画と建物復元のための基本設計を令和6年度から開始し、引き続き令和7年度にかけて作成する。中心建物「大おもて」の復元については、大友氏館跡建造物等復元整備検討委員会にて検討し、その上で文化庁の復元検にて引き続き審議する。また、大友氏館跡の北西側の空間構造を解明するための調査を実施する。さらに、利便施設用地Aにある道路部分の撤去工事を行う計画。	文化財課
		61	DXによる地域文化資源の継承及び活用推進事業	本市には、多くの有形・無形の文化財、史跡の他、地域の行事や伝統芸能、豊かな自然や景観・まちなみ等の「文化資源」が存在している。 本事業では、これらの貴重な文化資源を次世代へと継承し、観光・教育・産業など、様々な分野へ活用していくことを目的としている。 これにより、市民に対し「本市の歴史文化の魅力を再発見」、「市民の誇りと郷土愛の醸成」を促すとともに、本市の歴史文化の魅力を全国に向けて発信することが期待できる。	令和7年度は、引き続き本市の文化資源について、デジタルアーカイブに追加公開を行っていく。また、都市構造再編集事業の補助金を活用し、大友氏遺跡(唐人町跡)の出土遺物等の3Dモデルを作成し、公開・活用を行う。	文化財課
		62	FUNAI文化遺産整備基金積立金	かつて「府内」と呼ばれた大分市中心部は、現在も大友氏関連史跡や豊後府内城などの貴重な文化遺産が存在している。これらの保全と整備、ならびに歴史を活かしたまちづくりの機運醸成に資するために、貴重な文化遺産の整備の一部に寄附を募ることをHPの掲載やチラシの配布、各種イベント時の周知等で図っていく。	令和7年度は、府内城跡西側土塀の保存修理工事現場見学会や大友氏遺跡フェスタの現地にて寄附金受け入れと宣伝を引き続き行う予定である。また、大友館や府内城に関係する歴史講座等においてもチラシと共に配布し、周知を図っていく。	文化財課
		63	小牧山古墳群基盤整備事業	松岡地区に所在する県指定史跡小牧山古墳群は、自然に恵まれた環境の中に6基の古墳がそのままの状態で見守られており、市民の心身の健康を保つ癒しの場として、また地域の歴史に対する理解を深める学びの場として利用されている。令和6年度は古墳群内の案内施設の整備を行うと共に、学習資料やパンフレットの作製配布を行い、地域の歴史を伝える史跡として価値の周知をはかる。	令和4年度から令和6年度にかけて小牧山古墳群基盤整備事業が完了した。今年度は、パンフレットを印刷し、松岡地区の住人や市内文化財施設に配布し、周知活用を図っていく。	文化財課
目標8 スポーツを通じた地域 活性化		64 (市)	アーバンスポーツフェス/スケートボード大会開催事業	スポーツ推進における新たな魅力創出として、東京2020オリンピック競技大会で若者を惹きつけたアーバンスポーツの競技人口や裾野の拡大を図ることを目的に、各種アーバンスポーツを体験・体感できるイベントを市内中心部で開催する。	・OITA URBAN SPORTS FES 2025 【日時】令和7年10月(秋)、令和8年3月(春) 開催予定 【場所】未定 【内容】 10月:スケートボード、ブレイキン、ボルダリング、スラックライン 3月:スケートボード、ブレイキン、パルクール 上記種目の体験会及びゲストによるデモンストレーション、アーバンスポーツに関するアンケート調査 ・スケートボード大会 【日時】令和7年9月(予定) 【場所】調整中 【内容】 九州大会規模のスケートボード大会を誘致し、実施予定	スポーツ振興課
		65 (市)	大南地区スポーツ施設整備事業	平成27年大分市スポーツ推進審議会からの答申や、大南地区振興協議会から継続的な市長要望等を踏まえ、大分市の大南地区にスポーツ施設を整備し、地域で身近に利用できるスポーツ施設の環境を創出することで、大南地区ひいては本市におけるスポーツ実施率の向上や、本市のスポーツ施設配置状況における地域バランスを図る。	電気設備工事等の実施	スポーツ振興課

令和7年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業(継続)

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和7年度)	担当課
目標8 スポーツを通じた地域 活性化		66 (市)	アーバンスポーツ施設整備事業	本市のスポーツ振興における新たな魅力の創出として、東京オリンピック2020で若者を惹きつけた身近で楽しめるアーバンスポーツを推進する中で、本格的なアーバンスポーツ施設の整備に向け、ニーズ調査等も踏まえ2つの公園にアーバンスポーツ施設を整備する。	ニーズ調査等も踏まえ2つの公園にアーバンスポーツ施設を整備し、令和8年4月からの供用開始を目指す。	スポーツ振興課
目標9 人権尊重を基盤とした 教育の推進と充実	学校教育における 人権教育の推進と充実	67	教育指導一般事業 (啓発資料の作成等)	あらゆる差別の解消に向け、さまざまな人の考えや気持ちを共感的に理解できる力をはぐくむ教育の推進と充実に努める。	人権問題に関する知的理解を深めるため、児童生徒対象及び保護者対象の学習資料をそれぞれ作成する。	人権教育推進課
	社会教育における 人権教育の推進と充実	68	教育指導一般事業 (人権教育推進協議会等)	人権問題の解決に向け、各地区人権教育(尊重)推進協議会等との連携を強化し、市民の主体的な取組を促す学習機会の提供に努める。	各地区人権教育(尊重)推進協議会と人権啓発DVDや講師の紹介・派遣等による連携を図る中、評議員を対象にした研修会を年2～3回、また地区住民を対象にした人権講演会を年1回、少人数の地区懇談会を各地区の実情に応じた回数実施する。	人権教育推進課
目標10 人権尊重社会の実現に 向けた人権啓発の推進	人権啓発の推進	69	人権フェスティバル等事業	「市民一人一人が互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現」へ向け、大型商業施設等において啓発活動を行う。地域住民の参加・交流を促し、人権啓発の推進を図る。	「市民一人一人が互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現」へ向け、トキハわさだタウン、J:COMホルトホール大分、トヨタカローラ大分 祝祭の広場、地区公民館にて、啓発活動や講演会等を実施する。	社会教育課

令和6年度 本市における不登校児童生徒の状況について

「OITA COCOLO PLAN」の取組状況 ※調査対象：小 55校、中27校、義務教育学校は小・中学校にそれぞれ計上、分校は除く

○「スロースタートプログラム」の実施

小学校(実施校数/55校)

取組内容	6月	割合	1月	割合
学期始めの授業時数の軽減	18校	33%	32校	58%
学期始めの授業進度の工夫	20校	36%	32校	58%
行事の内容や取組の見直し	16校	29%	26校	47%
小中間での情報共有と連携強化	35校	64%	40校	73%
通信等による積極的な情報発信	34校	62%	41校	75%
部活動の入部時期を遅らせる				

中学校(実施校数/27校)

6月	割合	1月	割合
18校	67%	22校	81%
10校	37%	14校	52%
19校	70%	22校	81%
24校	89%	25校	93%
18校	67%	18校	67%
20校	74%		

○ICT(一人1台端末)を活用した学習支援

小学校(実施校数/55校)

取組内容	6月	割合	1月	割合
デジタルドリルの活用による支援	17校	31%	25校	45%
学習支援アプリによる課題配付	17校	31%	23校	42%
オンライン授業配信(zoom等)	6校	11%	17校	31%

中学校(実施校数/27校)

6月	割合	1月	割合
11校	41%	20校	74%
8校	30%	13校	48%
2校	7%	5校	19%

○校内教育支援ルームの設置

小学校(実施校数/55校)

取組内容	6月	割合	1月	割合
校内教育支援ルームの設置	40校	73%	50校	91%

中学校(実施校数/27校)

6月	割合	1月	割合
26校	96%	26校	96%

※登校支援員「スクールライフサポーター」による支援

令和6年度…中学校12校、義務教育学校1校へ13名配置 利用生徒数:337人(R5利用生徒数:300人)
不登校(傾向)⇒校内支援教室:R5:171人、R6:186人 校内支援教室⇒教室:R5:42人、R6:48人

【不登校児童生徒数の推移】



【不登校児童生徒数年度比較】

	小学校		増減	中学校		増減	小中学校計		増減
	R5	R6		R5	R6		R5	R6	
5月	83	102	+19	247	269	+22	330	371	+41
6月	180	218	+38	519	482	-37	699	700	+1
7月	228	284	+56	602	551	-51	830	835	+5
9月	322	346	+24	742	664	-78	1064	1010	-54
10月	394	411	+17	827	753	-74	1221	1164	-57
11月	444	460	+16	900	819	-81	1344	1279	-65
12月	499	517	+18	964	865	-99	1463	1382	-81
1月	523	559	+36	1000	911	-89	1523	1470	-53
2月	555	616	+61	1066	958	-108	1621	1574	-47
3月	586	643	+57	1079	981	-98	1665	1624	-41

【不登校児童生徒の割合】

小学校 24,936人中39人に1人 (R5:25,304人中43人に1人)
中学校 12,366人中13人に1人 (R5:12,535人中12人に1人)

- 【児童生徒の声】
- ・新しいクラスで友達がいなくて不安だったが、放課後にいろんな人と遊べて仲良くなった
 - ・いつも同じ先生がいるから、安心してステップルーム(校内教育支援ルーム)へ行ける
 - ・中学生と仲良くなったので、中学校からは行けそうな気がする(大在フレンドスペース小6児童)
- 【保護者の声】
- ・家でこどもと話ができる時間が増え、不安な学期始めの学校の様子が聞けるようになった
 - ・iPadでオンライン授業の様子を見て、学校の雰囲気を感じることができて、嬉しそうだった

令和7年度4月 本市各小中学校における不登校児童生徒への支援の状況について

◎「OITA COCOLO PLAN」の取組状況 ※調査対象：小 55校、中27校、義務教育学校は小・中学校にそれぞれ計上、分校は除く

○「スロースタートプログラム」の実施

※ 増加 減少

小学校(実施校数/55校)				中学校(実施校数/27校)				
取組内容	R6.6月	割合	R7.4月	割合	R6.6月	割合	R7.4月	割合
学期始めの授業時数の軽減	18校	33%	52校	95%	18校	67%	24校	89%
学期始めの授業進度の工夫	20校	36%	20校	36%	10校	37%	14校	52%
行事の内容や取組の見直し	16校	29%	35校	64%	19校	70%	23校	85%
小中間での情報共有と連携強化	35校	64%	21校	38%	24校	89%	18校	67%
通信等による積極的な情報発信	34校	62%	14校	25%	18校	67%	10校	37%
(新)家庭学習(課題)の軽減			26校	47%			14校	52%
部活動の入部時期を遅らせる					20校	74%	18校	67%

○ ICT(一人1台端末)を活用した学習支援

小学校(実施校数/55校)				中学校(実施校数/27校)				
取組内容	R6.6月	割合	R7.4月	割合	R6.6月	割合	R7.4月	割合
デジタルドリルの活用による支援	17校	31%	30校	55%	11校	41%	15校	74%
学習支援アプリによる課題配付	17校	31%	18校	33%	8校	30%	7校	26%
オンライン授業配信(zoom等)	6校	11%	9校	16%	2校	7%	3校	11%

○ 校内教育支援ルームの設置

小学校(実施校数/55校)				中学校(実施校数/27校)				
取組内容	R6.6月	割合	R7.4月	割合	R6.6月	割合	R7.4月	割合
校内教育支援ルームの設置	40校	73%	50校	91%	26校	96%	26校	96%

○ 人間関係づくりプログラムの実施

小学校(実施校数/55校)			中学校(実施校数/27校)		
取組内容	R7.4月	割合	R7.4月	割合	
1回実施	19校	35%	11校	41%	
2回実施	19校	35%	7校	26%	
3回実施	8校	14%	3校	11%	
その他の取組を実施	5校	9%	3校	11%	

○ 教育相談・保護者面談・家庭訪問の実施

小学校(実施校数/55校)			中学校(実施校数/27校)		
取組内容	R7.4月	割合	R7.4月	割合	
教育相談	28校	51%	8校	30%	
保護者面談	46校	84%	25校	93%	
家庭訪問	7校	13%	4校	14%	

◎令和7年度4月「長欠児童生徒調」集計結果 ※4月は授業日数16日のため不登校の計上なし

	R6.4月	R7.4月	R6記載人数	・不登校又は不登校傾向で7日以上欠席 ・欠席の合計が15日以上(病気等含む)
小学校	195	302		
中学校	504	519		
合計	699	821	R7記載人数	・当月7日以上欠席(病気等含む)

学びにアクセスできない児童生徒をゼロにすることを目指して

R7.4.Ver

令和5年度の大分市立小中学校の不登校児童生徒は、前年度より**256人増加し1,665人**となり、小学校は43人に一人、中学校は12人に一人が不登校の状態となっていたが、各学校の取組の結果、令和6年度は、小学校が**57人増加し643人**となり、39人に一人、中学校は**98人減少し981人**となり、13人に一人、合計**41人減少し1,624人**（暫定値）となった。また、学校内外の専門機関等で相談・指導を受けていない児童生徒は、令和4年度の不登校児童生徒数の**約3割**であったが、令和5年度には**約2割**に減少した。

安心して学べる 魅力ある学校づくり

- ★「スロースタートプログラム」による負担軽減
 - ・学期始めの授業時数の軽減や授業進度の工夫
 - ・学校行事の見直し
 - ・中1部活動入部時期等の変更 など
- ★「大分市不登校対応マニュアル」の改訂と教職員への周知徹底
- ★「学校いじめ防止基本方針」に基づいた、いじめへの対応の強化
- 小中学校間の系統性を踏まえた連携強化
- 「人間関係づくりプログラム」の計画的な実施



小さなSOSの早期発見と対応

- ★一人1台端末を活用した「心の健康観察」の調査研究
- ★大分市教育センター等、教育相談窓口の周知徹底
- 学級集団検査(hyper-QU)の結果を踏まえた児童生徒理解と教育相談
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家による支援とアドバイス
- 子ども家庭支援センターや児童相談所等の関係機関との連携強化
- 校内不登校対策会議の定期的な開催
- 保護者への支援と連携

多様な学びの場の確保

- ★校内教育支援ルームの設置と活用
- ★スクールライフサポーターの配置拡充と小学校との連携による支援の充実
- ★ICTを活用した支援
 - ・一人1台端末を活用した学習支援（ロイロノート、デジタルドリル等）
 - ・オンライン授業の配信
 - ・メタバースを活用した支援
- 大分市教育センター内の教育支援教室（フレンドリールーム）やおでかけフレンドリールームの利用促進
- メンタルフレンド（大学生による訪問）の活用
- 「学びの多様化学校」に関する調査研究
- フリースクール等、民間施設との連携
- 地域の団体やボランティアによる支援

★…新規の取組 ●…継続した取組

大分市における特別支援学級の状況について

特別支援学級の設置状況

(令6年5月1日現在)

種別	小学校			中学校			義務教育学校			合計		
	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	生徒数	設置校数	学級数	生徒数	設置校数	学級数	児童生徒数
知的	51	93	565	25	39	218	1	5	30	77	137	813
自・情	50	145	1,012	23	53	350	1	5	28	74	203	1,390
弱視	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1
難聴	1	1	2	1	1	1	0	0	0	2	2	3
肢体不自由	3	3	8	1	1	3	0	0	0	4	4	11
病弱	3	3	2	2	2	1	0	0	0	5	5	3
合計	109 (52)	246	1,590	52 (26)	96	573	2 (1)	10	58	163 (79)	352	2,221

※はばたき分校・院内学級を含む

()内は設置校の実数

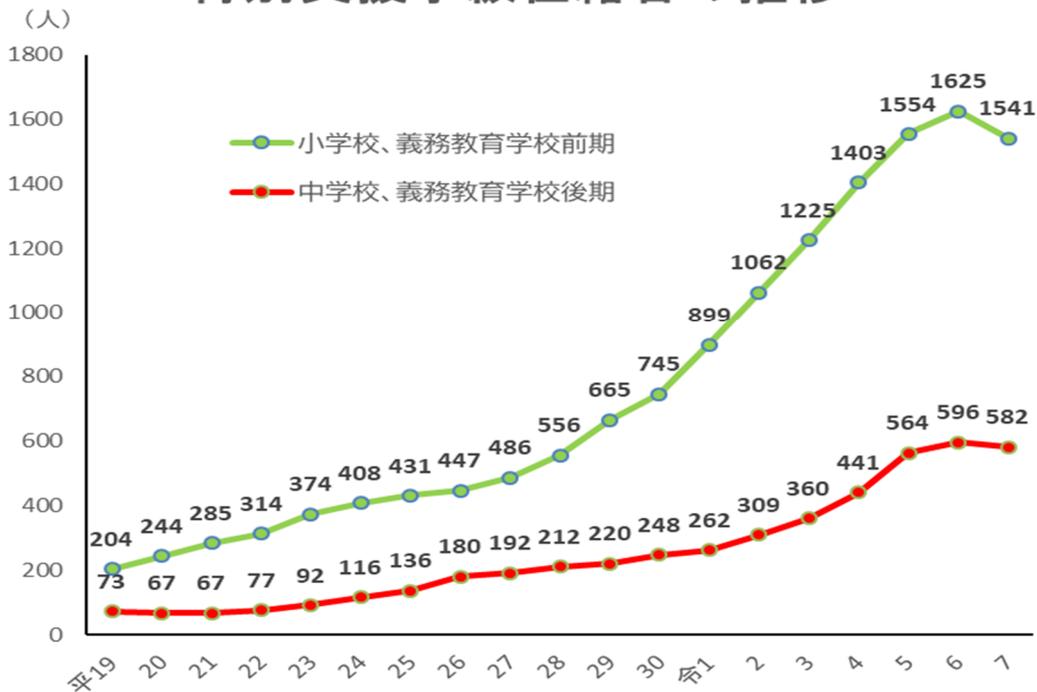
(令7年5月1日現在)

種別	小学校			中学校			義務教育学校			合計		
	設置校数	学級数	児童数	設置校数	学級数	生徒数	設置校数	学級数	生徒数	設置校数	学級数	児童生徒数
知的	51	93	550	25	40	220	1	4	26	77	137	796
自・情	50	139	948	23	52	336	1	5	29	74	196	1,313
弱視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	1	1	1	1	1	1	0	0	0	2	2	2
肢体不自由	2	2	7	1	1	2	0	0	0	3	3	9
病弱	3	3	2	2	2	1	0	0	0	5	5	3
合計	107 (52)	238	1,508	52 (26)	96	560	2 (1)	9	55	161 (79)	343	2,123

※はばたき分校・院内学級を含む

()内は設置校の実数

特別支援学級在籍者の推移



特別支援学級のR6年度とR7年度(5月1日現在)の比較

	学級数			在籍児童生徒数		
	R6	R7	増減	R6	R7	増減
小学校	252	243	-9	1,625	1,541	-84
中学校	100	100	0	596	582	-14
合計	352	343	-9	2,221	2,123	-98

※義務教育学校の前期課程は小学校に、後期課程は中学校に含む

障がい児適正就学指導委員会に依頼のあった件数の推移

<在籍児>

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
判定数	187	212	267	295	310
前年比		+25	+55	+28	+15

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
判定数	328	418	466	511	533
前年比	+18	+90	+48	+45	+22

※特別支援学級に在籍している小学校 6 年生は中学校入学に向けて全員判定を受けている

<新入児>

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
判定数	123	148	152	198	230
前年比		+25	+4	+46	+32

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
判定数	239	283	315	339	284
前年比	+9	+44	+32	+24	-55